

### 3. LFOVカメラ、ピンホールコリメータによる 甲状腺シンチグラフィの基礎的研究

○青木 寿雄 湊 真一  
本間 隆之 野口 久  
(五稜郭病院・RI)  
三原 藤正  
(同・内)  
村井 英夫  
(同・外)  
高橋貞一郎  
(札幌大・放)

LFOV ピンホールコリメータで  $^{131}\text{I}$  使用時の甲状腺シンチグラフィの画像作成条件について実物大に撮る距離、計測時間とカウント数の関係、黒化度および周辺部より計測した場合の補正率をファントームを使い実験した。

距離はピンホール先端より17cmで実物大となった。実験値でTOTAL 10K カウント画像を作製するのに約7分かかるが、被検者を寝たまま一定の体位に保てる時間を約15分間と指定すると20K カウントとした。また、ファントームの濃度の違いにより辺縁部よりの補正率が当然異なり補正することにした。

結語：当院で  $^{131}\text{I}$  使用時の条件は摂取率20%で、プリセットカウント20K、プリセットタイム900S、インテンシティ500、距離17cm、補正率0.9として、現在画像作成している。

### 4. 五稜郭病院における RI 施設と検査内容の推移について

湊 真一 青木 寿雄  
本間 隆之 野口 久  
(五稜郭病院・RI)  
三原 藤正  
(同・内)  
村井 英夫  
(同・外)  
高橋貞一郎  
(札幌大・放)

中規模の病院用として設計された RI 施設を紹介する。

施設の総床面積は約215m<sup>2</sup>で、体外測定室70m<sup>2</sup>、試料検査室36m<sup>2</sup>、貯蔵室7m<sup>2</sup>、準備室・保管廃棄室は17m<sup>2</sup>で、各室共十分な広さを持ち働きやすく作られている。将来γカメラの増設コンピューターの導入がなされても現在の室で対応できる。貯留槽は10t2槽、希釈槽20t、空気・水モニター、フードなどを設備し、γカメラLFOV、島津オートウェルAL201などを設置している。

52年7月から使用後検査数の推移は体外測定で52年7月102件、10月114件、53年2月148件、5月183件でこれらの約半数は肝と骨シンチである。

試料検査は、12項目の検査で52年7月443件、10月468件、53年2月621件、5月716件で、体外測定、試料検査共増加の傾向にある。

### 5. 心拍連動による心機能検査方法について

村山 憲一 坂田 元道  
黒崎 和夫 今野 晋作  
(札幌大・中X)  
大久保 整 久保田昌宏  
湯川 元資 高橋貞一郎  
(同・放)

SCINIPAC 200 および 230 の導入に伴い当病院においてもこれらの装置により心機能検査を行な